

【NEWS RELEASE】

2019年2月28日

各 位

株式会社三井住友銀行

石原産業株式会社に対する「ESG/SDGs評価」に基づく
コミットメントライン・シンジケーションを実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、石原産業株式会社（代表取締役社長：田中 健一）に対し、「ESG/SDGs評価シンジケーション」における「ESG/SDGs評価」に基づくコミットメントライン・シンジケーションを組成いたしました。

本件は、株式会社日本総合研究所（代表取締役：瀧崎 正弘）と弊行が作成した基準に基づき、石原産業株式会社のESG側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）達成への貢献を評価し、その趣旨に賛同いただいた金融機関によって組成されるコミットメントライン・シンジケーションとなります。

今回対象となりました、石原産業株式会社の取組は、環境側面（E）、社会側面（S）およびガバナンス側面（G）の各項目の中で特に社会側面（S）において高い水準であると判断され、全体では、サステナビリティに向けた企業経営において、良好な取組と情報開示を実施されているとの評価になりました。

特に、ESG及びSDGs達成に向けた取組では、以下の内容が高く評価されました。

E：「環境・安全基本方針」のもと、環境汚染の予防や廃棄物の発生抑制・再利用・再資源化を推進している。また、酸化チタンの生産工程から発生する有価物を環境商品として販売する際に、商品毎に第三者機関による評価を取得していること。

S：「ISKグループ行動規範」を策定し、競争的制限行為や贈収賄・汚職の禁止や、知的財産権の保護明記しているほか、公正な経済取引の実効性確保のための教育に注力していること。

G：企業理念に「株主・顧客・取引先、地域社会、従業員を大切にすると明記し、四日市工場を核として、地域社会との双方向のコミュニケーション等に注力していること。

SDGs：事業活動を通じて、SDGsのターゲット 2.1（食料増産）やターゲット 12.5（廃棄物削減）への貢献を意識していること。

三井住友銀行では、「ESG/SDGs評価シンジケーション」のESG評価を踏まえた情報提供を行い、持続可能な社会および市場の形成に一層貢献を行ってまいります。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。